

調査結果の概要

I 耕地面積及び耕地の拡張・かい廃面積

1 耕地面積（田畑計）

(1) 平成17年7月15日現在の全国の耕地面積（田畑計）は469万2,000haで、前年に比べて2万2,000ha（0.5%）減少した。これは平成16年の台風第23号、新潟県中越地震等による自然災害、耕作放棄、宅地等への転用などのかい廃があったためである。

近年のかい廃面積は、平成7年の5万300haを最高に、その後減少傾向で推移している。

（図1）

(2) 水田率は54.5%で前年に比べて0.1ポイント低下した。全国農業地域別にみると北陸が89.8%で最も高く、次いで近畿の77.7%、中国の76.9%の順となっている。（表1）

(3) 耕地率は12.6%で、前年並みとなった。全国農業地域別にみると沖縄が17.3%で最も高く、次いで関東・東山の15.5%、北海道の14.9%の順となっている。（表1）

表1 平成17年田畑別耕地面積（全国農業地域別）

単位：ha

全国農業地域	計			田			畑			水田率	耕地率
	面積	前年との比較		面積	前年との比較		面積	前年との比較			
		対差	対比		対差	対比		対差	対比		
			%			%			%	%	%
全 国	4 692 000	△ 22 000	99.5	2 556 000	△ 19 000	99.3	2 136 000	△ 3 000	99.9	54.5	12.6
北 海 道	1 169 000	△ 3 000	99.7	227 700	△ 1 900	99.2	941 000	△ 1 500	99.8	19.5	14.9
東 北	884 000	△ 3 600	99.6	631 200	△ 3 100	99.5	252 800	△ 500	99.8	71.4	13.2
北 陸	323 000	△ 2 900	99.1	289 900	△ 3 000	99.0	33 200	200	100.6	89.8	13.1
関東・東山	772 700	△ 4 700	99.4	429 100	△ 3 600	99.2	343 600	△ 1 100	99.7	55.5	15.5
東 海	281 500	△ 300	99.9	166 300	△ 1 400	99.2	115 300	1 200	101.1	59.1	9.8
近 畿	239 700	△ 1 400	99.4	186 200	△ 1 900	99.0	53 500	500	100.9	77.7	8.8
中 国	258 200	△ 900	99.7	198 500	△ 1 500	99.3	59 700	600	101.0	76.9	8.1
四 国	151 000	△ 1 200	99.2	95 200	△ 1 000	99.0	55 800	△ 200	99.6	63.0	8.0
九 州	573 600	△ 3 500	99.4	331 100	△ 1 800	99.5	242 500	△ 1 800	99.3	57.7	13.6
沖 縄	39 300	△ 400	99.0	877	△ 9	99.0	38 500	△ 300	99.2	2.2	17.3

注：1）水田率は、耕地面積（田畑計）のうち、田面積が占める割合（%）である。

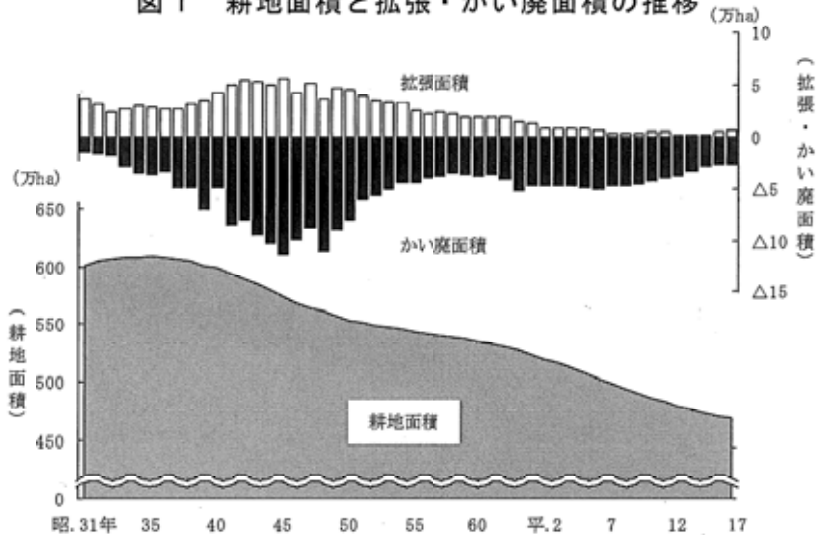
2）耕地率は、総土地面積のうち、耕地面積（田畑計）が占める割合（%）である。

なお、この総土地面積は、国土交通省国土地理院「平成16年全国都道府県市区町村別面積調」による。

(4) 耕地面積の昭和31年以降の動向をみると、30年代初めは増加傾向で推移したが、36年の608万6,000haを最高にその後年々減少し、41年には599万6,000haと600万haを下回った。その後も高度経済成長のもと宅地等への転用が大幅に増加したことなどから減少幅が大きくなったが、50年代に入ると、耕地面積の減少は40年代に比べ比較的緩やかになった。

平成元年以降は、増加要因である開墾等が減少する一方で、減少要因である宅地等への転用や耕作放棄等によるかい廃は継続的に発生しているために減少幅が大きくなり、8年には499万4,000haと500万haを下回った。その後、減少率は鈍化しているものの耕地面積は減少を続けており、平成17年の469万2,000haを昭和36年と比較すると、77.1%となっている。（図1）

図1 耕地面積と拡張・かい廃面積の推移



2 田耕地面積

(1) 平成17年7月15日現在の田耕地面積は255万6,000haで、前年に比べて1万9,000ha (0.7%) 減少した。全国農業地域別に減少面積をみると、関東・東山が3,600haで最も大きく、次いで東北の3,100ha、北陸の3,000haの順となっている。(表1)

(2) 田の拡張・かい廃面積をみると、拡張面積は464haで、前年に比べて124ha減少した。(表2)

一方、かい廃面積は1万9,800haで、前年に比べて2,500ha増加した。これは、主に新潟県中越地震や台風第23号等の自然災害の増加等によるためである。(表3)

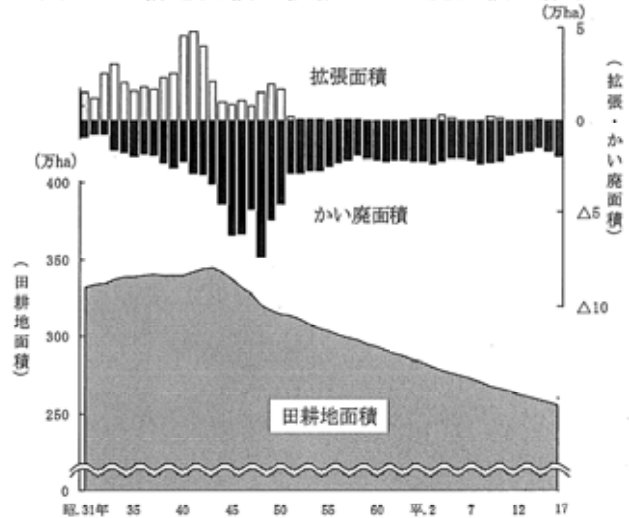
近年のかい廃面積は、平成9年の2万3,100haを最高に、その後減少傾向で推移していたが、自然災害の影響等により16年及び17年は増加した。(図2)

表2 平成17年田の拡張面積(全国農業地域別)

全国農業地域	拡張(増加要因)					田畑転換
	開墾	干拓・埋立て	復旧	田畑転換		
全国 計	464	1	-	260	203	
全国 対前年差	△124	△12	-	△247	135	
北海道	89	-	-	89	-	
東北	184	-	-	11	173	
北陸	105	-	-	78	27	
関東・東山	3	0	-	-	3	
東海	-	-	-	-	-	
近畿	62	-	-	62	-	
中国	0	-	-	-	0	
四国	9	0	-	9	-	
九州	11	0	-	11	-	
沖縄	1	1	-	-	-	

注：拡張面積の計とその内訳の要因別面積積上げ値は一致しない場合がある。
 (「利用者のために4.(3) 耕地の拡張・かい廃面積について」参照)

図2 田耕地面積と拡張・かい廃面積の推移



(3) 田耕地面積の昭和31年以降の動向をみると、40年代前半まで増加傾向であったが、44年の344万1,000haを最高にその後減少傾向で推移し、平成17年の255万6,000haをピークであった昭和44年と比較すると、74.3%となっている。これは、米の生産調整の実施により開

墾等が抑制され、畑への転換が行われたとともに、宅地等への転用、耕作放棄等のかい廃が継続的に発生しているためである。(図2)

表3 平成17年田のかい廃面積(全国農業地域別)

単位: ha

全国農業地域	かい廃 (減少要因)	自然 災害	人為							耕作放棄	畑 転換	
			小計	工場 用地	道路・鉄道 用地	宅地等	農林道等	植林	その他			
全国	計	19 800	2 560	10 800	691	938	4 120	271	172	4 620	3 020	5 840
	対前年差	2 500	1 870	200	36	△ 292	△ 250	13	△ 48	730	△ 210	1 080
北海道		1 980	-	364	10	65	26	15	1	247	206	1 620
東北		3 320	0	2 270	108	222	630	89	12	1 210	404	877
北陸		3 120	1 070	1 530	89	161	521	26	30	699	118	239
関東・東海		3 550	0	2 180	130	153	932	56	7	901	817	1 370
東海		1 540	105	695	49	39	365	6	17	219	208	628
近畿		2 020	1 120	798	89	64	443	26	10	166	142	101
中国		1 510	0	813	37	65	437	8	27	239	222	697
四国		994	240	556	26	45	317	3	9	186	152	198
九州		1 740	18	1 600	153	124	453	42	59	767	738	122
沖縄		10	-	10	-	-	-	-	-	10	9	0

注: かい廃面積の計とその内訳の要因別面積上げ値は一致しない場合がある。(「利用者のために4.(3)耕地の拡張・かい廃面積について」参照)

3 畑耕地面積

(1) 平成17年7月15日現在の畑耕地面積は213万6,000haで、前年に比べて3,000ha(0.1%)減少した。全国農業地域別に減少面積をみると、九州が1,800haと最も大きく、次いで北海道の1,500ha、関東・東山の1,100haの順となっている。(表1)

(2) 畑の拡張・かい廃面積をみると、拡張面積は1万800haで、前年に比べて1,570ha増加した。これは、主に田からの転換が増加したためである。(表4)

一方、かい廃面積は1万3,800haで、前年に比べて900ha減少した。これは、主に自然災害によるかい廃が減少したためである。(表5)

近年のかい廃面積は、平成7年の3万2,100haを最高に、その後減少傾向で推移し、17年は1万3,800haと昭和31年以降、最も少ないものとなっている。(図3)

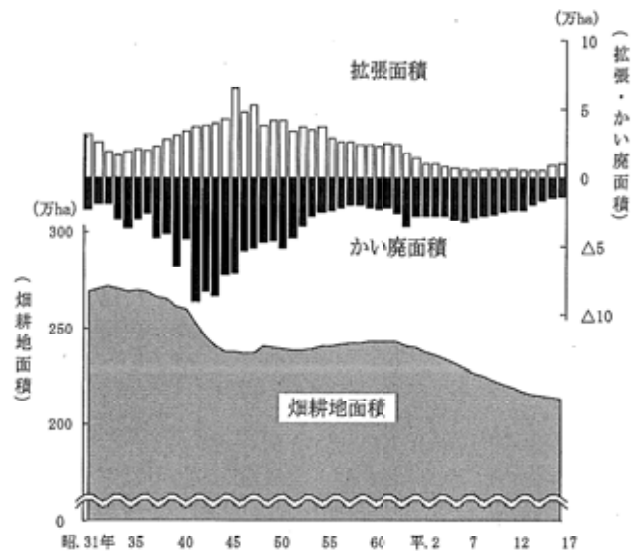
なお、かい廃面積のうち耕作放棄面積は8,070haで、これを全国農業地域別にみると北海道が3,220haで最も多く、次いで九州の1,430ha、東北の1,040haの順となっている。(表5)

表4 平成17年畑の拡張面積(全国農業地域別)

図3 畑耕地面積と拡張・かい廃面積の推移

全国農業地域	拡張 (増加要因)	単位: ha				畑 転換
		開墾	干拓・ 埋立て	復旧	田	
全国	計	10 800	2 230	-	139	5 840
	対前年差	1 570	50	-	△ 487	1 080
北海道		2 610	866	-	132	1 620
東北		1 560	220	-	1	877
北陸		373	40	-	1	239
関東・東海		1 660	284	-	5	1 370
東海		1 780	83	-	-	628
近畿		734	150	-	0	101
中国		1 290	104	-	-	697
四国		236	38	-	-	198
九州		432	310	-	0	122
沖縄		135	135	-	-	0

注: 拡張面積の計とその内訳の要因別面積上げ値は一致しない場合がある。(「利用者のために4.(3)耕地の拡張・かい廃面積について」参照)



(3) 畑耕地面積の昭和31年以降の動向をみると、33年の271万9,000haを最高に、34年以降は減少傾向で推移し、40年代前半には、田や宅地等への転換、植林等により大幅に減少し、一時230万ha台まで減少した。その後、53年から62年にかけて田への転換の抑制等によって、増加要因の拡張と減少要因のかい廃の差がプラスに転じたことにより増加傾向で推移し、62年には243万haとなった。63年以降は、開墾等の拡張が大幅に減少した一方で、かい廃は継続的に発生しているために再び減少傾向で推移し、平成17年の213万6,000haは、ピークであった昭和33年と比較すると78.6%となっている。(図3)

表5 平成17年畑のかい廃面積(全国農業地域別)

全国農業地域	かい廃 (減少要因)	自然 災害	人 間 的 因 素							その他 耕作放棄	畑 転換
			小計	工場 用地	道路・鉄道 用地	宅地等	農林道等	植林			
									田畑		
全国	13 800	87	13 500	475	397	3 120	502	570	8 420	8 070	203
計	△ 900	△ 608	△ 300	44	△ 188	△ 110	△ 52	102	△ 150	△ 70	135
北海道	4 080	-	4 080	19	78	368	255	44	3 320	3 220	-
東北	2 070	1	1 900	65	66	346	40	238	1 140	1 040	173
北陸	240	14	199	9	10	81	3	16	80	61	27
関東・東山	2 660	0	2 650	162	76	1 220	54	62	1 080	1 010	3
東海	694	31	663	39	11	270	7	29	307	299	-
近畿	227	11	216	21	27	88	1	0	79	74	-
中国	670	0	670	38	22	181	30	19	380	371	0
四国	428	30	398	12	18	79	3	29	257	254	-
九州	2 200	0	2 200	98	52	370	88	133	1 460	1 430	-
沖縄	510	-	510	12	37	115	21	-	325	314	-

注：かい廃面積の計とその内訳の要因別面積値は一致しない場合がある。(「利用者のために4.(3)耕地の拡張・かい廃面積について」参照)

(4) 畑耕地面積を種類別にみると、普通畑が117万3,000ha、樹園地が33万2,300ha、牧草地が63万600haとなっており、これを前年と比較すると普通畑は4,000ha(0.3%)増加し、樹園地は2,700ha(0.8%)、牧草地は3,900ha(0.6%)それぞれ減少した。(表6)

畑種類別の面積割合は、普通畑が54.9%、樹園地が15.6%、牧草地が29.5%となっている。(表6)

表6 平成17年畑種類別面積(全国農業地域別)

全国農業地域	計			普通畑			樹園地			牧草地		
	面積	前年との比較		面積	前年との比較		面積	前年との比較		面積	前年との比較	
		対差	対比		対差	対比		対差	対比		対差	対比
全国	2 136 000	△ 3 000	99.9	1 173 000	4 000	100.3	332 300	△ 2 700	99.2	630 600	△ 3 900	99.4
(構成比%)	(100.0)			(54.9)			(15.6)			(29.5)		
北海道	941 000	△ 1 500	99.8	412 200	1 500	100.4	3 440	△ 100	97.2	525 400	△ 2 900	99.5
東北	252 800	△ 500	99.8	135 000	400	100.3	53 000	△ 300	99.4	64 800	△ 700	98.9
北陸	33 200	200	100.6	24 800	200	100.8	5 900	△ 80	98.7	2 480	△ 10	99.6
関東・東山	343 600	△ 1 100	99.7	276 400	△ 200	99.9	56 800	△ 600	99.0	10 500	△ 100	99.1
東海	115 300	1 200	101.1	62 500	1 300	102.1	49 800	0	100.0	3 030	△ 10	99.7
近畿	53 500	500	100.9	18 000	400	102.3	34 900	100	100.3	580	11	101.9
中国	59 700	600	101.0	36 700	900	102.5	19 400	△ 200	99.0	3 650	50	101.4
四国	55 800	△ 200	99.6	16 700	300	101.8	38 500	△ 400	99.0	659	△ 3	99.5
九州	242 500	△ 1 800	99.3	159 800	△ 600	99.6	68 600	△ 1 000	98.6	14 100	△ 100	99.3
沖縄	38 500	△ 300	99.2	31 000	△ 300	99.0	1 990	20	101.0	5 450	△ 110	98.0